

SITE PUBLIS

株式会社サイト・パブリス

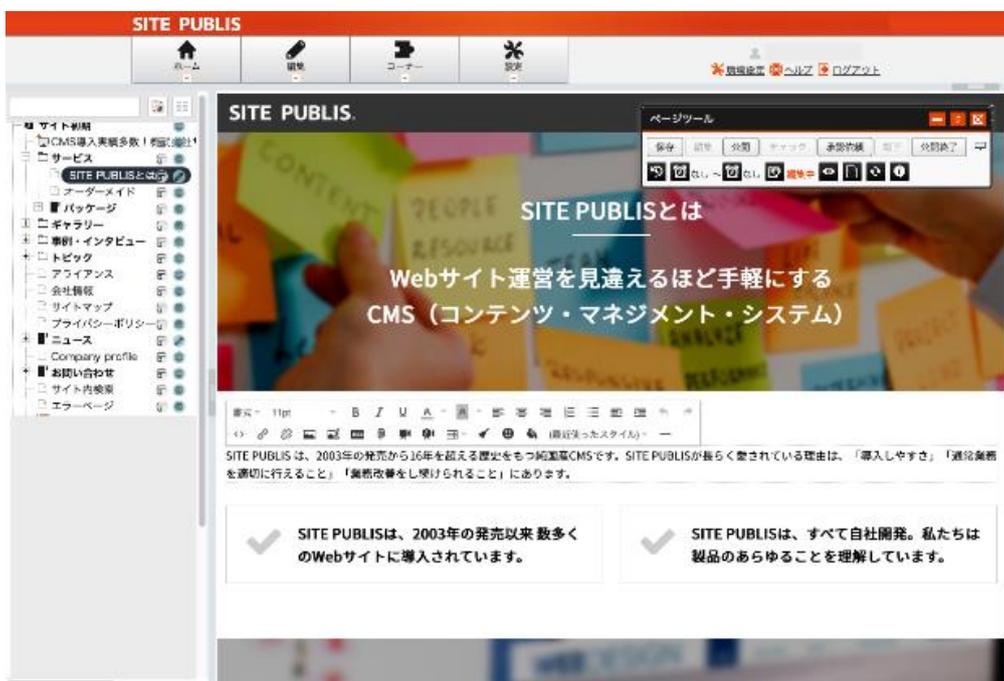
2020年1月23日

国内 CMS 初！ ページ公開前に画像と HTML で更新内容を比較できる新機能を追加
複数事業部による同時編集や情報発信頻度が高い Web サイト運営のパフォーマンスを向上

「SITE PUBLIS 4.7.0」

～2020年2月3日(月)から提供開始～

株式会社デジタルフォロン(本社:東京都千代田区、代表取締役:蕭 敬如、以下デジタルフォロン)のグループ会社、株式会社サイト・パブリス(本社:東京都千代田区 代表取締役:蕭 敬如 以下サイト・パブリス)は、CMS ソフトウェア「SITE PUBLIS」の新バージョンである「SITE PUBLIS 4.7.0」(<https://www.sitepublis.net/service/publis.html>)を 2020年2月3日(月)より提供開始いたします。



<SITE PUBLIS ページ編集画面>

■CMS「SITE PUBLIS」の概要

サイト・パブリスは企業を取り巻くすべてのステークホルダーに対する、最適なコミュニケーションの実現を目指したステークホルダーコミュニケーションツールとして、CMS「SITE PUBLIS」を提供しています。「SITE PUBLIS」は、2003年の発売以来、数多くの企業・団体の Web サイトに導入され、Web サイト更新業務の改善に貢献しています。

■新バージョン「SITE PUBLIS 4.7.0」の背景

この度サイト・パブリスは、さらにやさしい Web サイト運営を実現したいというお客様のニーズに応えるため、新バージョン「SITE PUBLIS 4.7.0」の提供を開始いたします。「SITE PUBLIS 4.7.0」では、国内 CMS で初めて Web サイトのページ公開前に、編集前後のページを画像比較と HTML 比較の両方で行うことができ、確認作業の精度を高め、効率的に行うための機能を強化しています。例えば、IR 情報など厳密な確認が必要なページや、キャンペーン情報等の更新頻度が高いページの公開前における確認作業の効率を改善したいというお客様のニーズに応えることができます。さらに、動的なページ生成処理を大きく見直し、同時アクセス時のパフォーマンスと、ページ単一でのパフォーマンスの向上により、Web サイト運営に関わる業務を大幅に改善することができますようになります。

■「SITE PUBLIS 4.7.0」の特徴

①Web ページの更新・差分を直感的にチェックできる国内 CMS 初の「ページ変更履歴比較表示機能」

これまで、WYSIWYG 編集やブロック要素でのレイアウト機能、コンポーネントによる簡易コンテンツ作成機能により、直感的なWeb ページの更新を可能にしていました。さらに、公開承認ワークフロー機能やWeb ページ公開履歴保持機能、公開履歴プレビュー機能などにより、責任ある情報発信を確実にするための業務フロー構築に大きく貢献していました。

「SITE PUBLIS 4.7.0」では、グループ会社や事業部をまたいで複数人で一つのWeb サイトを同時編集している場合や、時間単位でのキャンペーン告知等の情報発信頻度が高い場合に、今までは現在公開中のページと修正したページをその都度、個々に画面を開いて見比べる必要がありましたが、国内 CMS 初となる比較表示機能により一括で差分を確認することができます。また Web ページ承認者向けに Web ページの見た目で比較を行う「イメージ比較」と、Web ページ編集者向けに HTML ソースコードの差分比較を行う「HTML 比較」により、「リリース予定ページのどこがどのように更新されたか」を簡単に確認できるため、これまで確認に手間を要していた差分比較チェック業務を大幅に削減することができます。 「イメージ比較」では静止画像だけでなく、アニメーションでサイトイメージの変更前と変更後を交互に比較することができます。さらに、サイト運用者の各段階での記録を見ることができ、Web サイトの内容の企画者と運用者が異なる場合も、何往復も確認せずに一度で直感的に差分を確認できます。

＜ページ変更履歴比較表示: イメージ比較表示＞



＜ページ変更履歴比較表示: HTML 比較表示＞



▲「イメージ比較」「HTML 比較」ともに

左側の画面が変更前、右側の画面が変更後を表示

②動的ページの出力を最大 3.4 倍に高速化し、パフォーマンスを改善

SITE PUBLIS は、HTML キャッシュ等のパフォーマンスを向上させる機能を持っており、数多くの大規模な Web サイトでご利用頂いております。しかし現在の Web サイトでは、動的なページ生成が求められることも多く、キャッシュを利用しない動的なページ生成を行った上で、パフォーマンスを確保する必要性が高まっています。

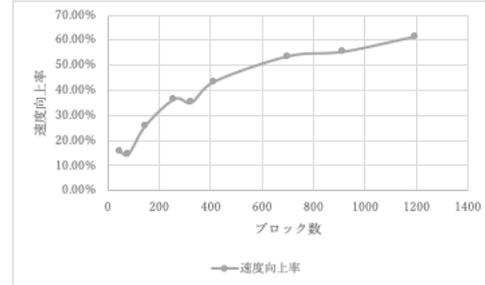
「SITE PUBLIS 4.7.0」では、動的なページ生成処理を大きく見直し、同時アクセス時のパフォーマンスと、ページ単一でのパフォーマンスの改善を行いました。

これにより、動的な Web サイトのユーザーエクスペリエンスの快適性を大幅に向上することができることに加え、運営する Web サイトの検索エンジン評価を向上させることに繋がるため、SEO における効果向上が期待できます。

<同時アクセス時パフォーマンス:最大 3.4 倍の向上>



<単一ページアクセス時:最大 2.5 倍の性能向上>



③公開 Web ページへの jQuery 自動適用を廃止し、任意のライブラリを導入可能に

SITE PUBLIS では、JavaScript フレームワークとして多くの Web サイトに導入されている jQuery を採用しており、運営する Web サイトで簡単に jQuery を利用できるようにしています。しかし、「jQuery を異なるバージョンで導入したい」「Web サイトで jQuery を使いたくない」といった、Web サイト制作者が任意のフレームワークを採用して Web サイト構築を行いたいという要望が多くありました。

「SITE PUBLIS 4.7.0」では、公開 Web サイトへの jQuery の自動適用を廃止し、任意の JavaScript フレームワークを適用したり、jQuery を適用せずに Web サイトを制作したりすることができるようになりました。

これにより、jQuery の最新バージョンの導入をスピーディに実施できるようになる他、jQuery を適用しないことで公開 Web ページの軽量化を図ることができるようになります。

■デジタルフォルン 会社概要

名 称:株式会社デジタルフォルン

代 表 者:代表取締役 蕭 敬如

本 社:東京都千代田区霞が関 3-2-6 東京倶楽部ビルディング 9 階

事業内容:アジャイル開発/ビジネスコンサルティング/デジタルマーケティング
ソフトウェア設計・開発/グローバル・ビジネス

従業員数:単体 294 名、グループ連結 332 名、海外関連事業 3399 名(2019 年 7 月末現在)

U R L:<https://www.vorn.co.jp/>

■サイト・パブリス 会社概要

名 称:株式会社サイト・パブリス

代 表 者:代表取締役 蕭 敬如

本 社:東京都千代田区霞が関 3-2-6 東京倶楽部ビルディング 5 階

事業内容:Web 系製品・サービスの企画・開発および販売/Web サイト構築および活用支援

U R L:<https://www.sitepublis.net/>